

みやこ市議会だより N

# 羅針盤

らしんばん

2019

平成31年

3月議会

No.56

田老第一小学校の入学式が4月8日、春の穏やかな晴天のなか同校の体育館で行われました。田老第三小学校と統合となつてから初めての入学式、晴れ着を着飾ったピカピカの新1年生10名は、少し緊張した表情ながらも、式で自分の名前を呼ばれると「はい」と元気いっぱいの声を響かせていました。校歌斉唱などに続いて、2年生の児童から歓迎の言葉とリズムカルなダンスの披露があり、新1年生の仲間入りを祝いました。

## INDEX

祝 リアス線開通 走れ!三陸鉄道... 2P

一般質問...10P

議会トピックス...18P

3月定例会議... 4P

編集後記...19P

予算特別委員会... 7P

みんなのラウンジ...20P



# 祝リアス線開通 走れ！三陸鉄道

市議会の本会議や委員会でもこれまで課題としてきた、宮古駅以南の鉄道が3月23日、三陸鉄道「リアス線」の一部として開通しました。沿線が喜びに包まれた当日の様子を中心に、市議会と鉄道との関わりをお知らせします。

## 待ちわびた鉄路復活

3月23日、三陸鉄道「リアス線」が開通しました。同路線は、三陸鉄道株式会社が従来から管理していた南北のリアス線と、東日本大震災の被害で不通となっていたJR山田線（宮古～釜石間）をひとつに繋ぎ、三陸鉄道が新たに一括で管理・運営するものです。



市民に歓迎される三陸鉄道の車両

このたびの運行再開は、私たち宮古市民にとって震災の被害により寸断されていた公共交通網がやっと元どおりになります。

3月23日に運行された特別列車には、宮古市議会を代表して古館章秀議長が乗車。山本正徳宮古市長などの乗客と



八木沢・宮古短大駅での駅名表示の序幕

また、古館議長は、宮古駅到着後にイーストピアみやこ内で催された、開通記念式典にも参加しました。

式典では冒頭、同社の社長である中村一郎氏がリアス線の開通宣言を行い、取締役会長である達増拓也岩手県知事が、集まった関係者や市民に向けてあいさつしました。

また、来賓による祝辞のあとに、特別ゲストとして、三陸鉄道沿線をロケ地として制作・放映されたドラマ「あまちゃん」で主演を務めた、女



のんさんより花束を受け取る中村社長

優の「のん」さんが登場。祝辞を述べた後、中村社長に花束を贈呈して、式典に花を添えました。

## 議会での三鉄議論

市議会ではこれまで、鉄道の復旧・復興について様々な機会を設けて議論を行ってきました。

平成25年3月には「鉄道復興対策特別委員会」を設置し、当時のJR山田線や三陸鉄道の振興策について事業者

との意見交換を行ったり、意見書を作成したりといった活動をしています。また、同年11月には、釜石市、大槌町、山田町の沿線自治体と連名で、「JR山田線宮古～釜石間の鉄路による早期復旧及び鉄道の災害復旧に係る関連法令の整備」について、国へ要望書を提出しています。

また、市議会議員で組織する市政調査会は、平成31年1月、「三陸鉄道の現状と課題について」と題して研修会を行いました。内容は、同社の中村社長による「光り輝く三陸を目指して」リアス線一貫運行開始」と題する講演で、中村社長は、三陸鉄道による震災後の様々な取り組みを挙げながら、3月からの一貫運行開始への意気込みを語りました。

宮古市議会では、これからも鉄道などの公共交通機関のあり方について、議論を重ね応援していきます。



開通記念式典での合唱の様子



### 平成31年3月定例会議

# 復興の「総仕上げ」を目指す 平成31年度当初予算を可決

## 新年度の予算総額は 363億7000万円



### 減少が続く当初予算

平成31年度一般会計予算総額は363億7000万円、前年度当初予算と比べて4億3100万円(10.9%)の減少となり、昨年に続いて震災後の当初予算として最低額を割り込む形となりました。

48億6922万円と前年当初比46・7%の減少、震災以外の通常分は315億77万円と前年度当初比0・5%の減額となっています。

一方歳入は、市税が55億9012万円、前年度当初比0・4%増、地方交付税が119億3494万円、前年度当初比3・3%減となりました。

今議会での補正は、すでに議決されている歳入・歳出に、それぞれ

宮古市議会3月定例会議で可決された、平成31年度当初予算、主な条例及び議案などの概要をお知らせします。

### 新年度の方針示される

今定例会議では、開会日である2月18日の本会議冒頭で、山本市長が「平成31年度宮古市経営方針」を、伊藤教育長が「平成31年度宮古市教育行政方針」を述べ、新年度の市政と教育行政の目標について、議会に説明を行いました。

### 平成31年度予算など可決

可決された議案は、市長から提案のあった、宮古市一般会計、宮古市国民健康保険事業勘定特別会計、宮古市水道事業会計などの平成31年度当初予算17件、平成30年度補正予算11件、「宮古市小国総合交流促進施設条例」などの11件で、

### 可決された条例など

3月定例会議で可決された主な条例をお知らせします。

○宮古市小国総合交流促進施設条例  
閉校した小国小学校を、新たに宮古市小国総合交流施設として設置しようとするものです。

○宮古市老人憩の家条例の一部を改正する条例  
老人憩の家の利用区分を見直し、小田代山荘と安庭山荘の差異をなくし、使用料の額の改定等をしようとするものです。

○宮古市乳幼児、小中学生、妊産婦及び重度心身障害者医療給付条例の一部を改正する条例  
医療の現物給付による助成の対象年齢を、小学校6年生まで拡大しようとするものです。

○宮古市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例  
災害援護資金の貸付利率を軽減するよう定めるとともに、当該災害援護資金の償還方法に、月賦償還の方法を追加

3月の議会	
2月18日～3月19日	
30日間	
予算	28件
条例	11件
その他議案	27件
諮問	1件
発議案	1件
意見書	1件
請願	1件
一般質問14人(3日間)	

その他の議案が27件でした。

また、請願1件が採択となり、委員会の意見書として可決されたほか、定例会の招集後に初めて開く会議である「開会会議」や、議場に設置されている「表決システム」による表決の方法を定めた発議案1件が、議会運営委員会より提出され、可決されました。

### 一般質問は3日間

一般質問は、3月4日(月)から6日(水)までの3日間に渡り行われ、14人の議員が登壇し、市政の重要課題について質問等を行いました。

【関連】一般質問の詳細は10ページからの記事をご覧ください。

記しようとするものです。

○宮古市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例  
放課後児童支援員の資格要件に新たに該当するものを追記し、見直しをしようとするものです。

○宮古市保育所条例の一部を改正する条例  
花輪保育所の移転に伴い、施設の定数及び位置を変更するとともに、指定管理者に管理を行わせようとするものです。

### 請願の審議

**採択** 最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める請願  
(岩手県労働組合連合会 議長 金野 耕治 ほか1名)

### 可決した意見書

○最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書  
最低賃金の改善を図り、労働者の所得を確保すると同時に中小企業に対する支援策を拡充するための取り組みを講じるよう国に要望する意見書です。



# 討論

本会議での討論の概要をお知らせします。(討論後に行われた賛否の結果は、下表のとおり。)

田老総合事務所庁舎移転新築工事の請負契約の締結に  
関し議決を求めることについて

反対討論  
落合久三 議員

本会議における総務常任委員長の報告の中で、委員会審査で委員から出された論点・疑問点が報告された。  
総務常任委員会の委員からは、民間の金融機関を想定した設計に基づく契約額が過大

賛成討論  
西村昭二 議員

なものとなっている点、そもそも民間事業者の業務スペースを想定し、行政財産である庁舎の基本設計に盛り込んだことへの疑義が呈されている。この委員会での審査を踏まえ、前述の疑問点と立場を同じくし、議案へ反対するものである。

田老総合事務所庁舎移転新築工事は、総務常任委員会長期に渡り慎重に議論されたうえで、市長の執行権で法律の範囲の中で議決された案件である。

住民サービスの向上が図られる総合事務所新築、交通手段でもある田老新駅との連結など、様々な面で地域生活の支えになることが期待されている。  
設計、工法、請負金額も問題もないと思うことから賛成する。

反対討論  
竹花邦彦 議員

宮古市保育所条例の一部を改正する条例  
本議案について、以下の点をもって反対する。  
第1に、指定管理で保育士等のスタッフが全員入れ替わり、子どもたちの保育環境が大きく変化すること。  
第2に、指定管理制度は管理者の交代・変更があり得る仕組みであり、保育士等の職員が不安定雇用状態に置かれること。  
第3に、この問題が、市長と市職員労働組合間の事前協議事項であるにも関わらず、事前合意なしに議会に提案されたこと。  
第4に、導入効果としての人件費コスト削減に疑問があること。  
第5に、基幹的保育所(小山田、千徳、田老、新里)は直営、そのほかは指定管理と

花輪保育所の整備と指定管理の計画は、平成22年3月策定の宮古子育てプラン21及び、平成27年3月策定の宮古子ども子育て支援事業計画により、議会へ説明されている。

先行する津軽石保育所では、前保育所長による丁寧な引き継ぎにより指定管理移行に問題はなく、開設時間の延長で利便性が向上したことが確認された。以上のことから、民間活力の導入によるサービス拡大、基幹保育所への機能集中など、新たな保育サービスが期待できる。  
教育民生常任委員会でも2日間にわたり審査され、議論が尽くされたことから賛成するものである。

賛成討論  
橋本久夫 議員

この内容は、  
平成30年度は市職員を対象にLGBTについての講座を行った。新年度も多様化に対応した事業・講座を催したい。  
グリーンピア三陸みやこ施設  
管理事業  
多目的アリーナ屋根、センター棟のトイレの改修が予定されているが、バリアフリー化は行われるのか。  
全館にわたり段差が解消されるような改修ではないが、今回手掛けるトイレは改善していく予定である。  
選挙啓発推進事業  
投票率の低下が問題となっているが、平成31年度は新しい取り組みを考えているのか。  
送迎バス事業について、川井地域の門馬地区で乗り場を増やす予定である。  
防災集団移転促進事業  
まだ未整備のところがあるのか。  
相続等の関係で契約できずにいる土地が、5地区で合わせて7件あり、その買い取りのための費用である。

理由は、  
補助金が執行されずに、剰余金を繰り越している団体を調査し、見直し基準を設けて対応した結果である。  
補助金の繰越が出ているが、活動自体への評価を伺う。  
震災後、研修の回数を増やし、視察等の対応も行ったため、震災以前より活発な側面もあったと考える。  
在宅超重症児等短期入所事業所機器整備費補助金  
市内の老人保健施設を対象としたもので事業所の新規立ち上げではない。受け入れの意向を示したところがあり、そのための機器の購入費用の補助金である。

## 賛否一覧表

「○」=賛成者、「×」=反対者、「退」=退席者、「欠」=欠席者、「除」=除斥、「-」=議長(採決に加わらない)

議案番号 議案名	議席番号 議員名																						採決方法	議決結果
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22		
議案第24号 宮古市保育所条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	起立表決	可決
議案第30号 田老総合事務所庁舎移転新築(建築)工事の請負契約の締結に 関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	起立表決	可決

# 予算特別委員会報告 平成31年度 予算審査

## 一般会計・歳出

### 【総務】

シティプロモーション推進事業  
動画制作委託はどのような形で委託・活用していくのか。  
これまで59本の動画をアップしたが再生回数は非常に少ない。新年度は「本州最東端のまち宮古・PR隊」の試行を継続し、動画コンテストなども予定している。

財産管理事務  
市勢振興基金の活用の方  
基金を充当する事業については、寄付者の意向を尊重しているが、希望がないものは、市長の判断等を仰ぎ決定している。

(仮称)宮古創生センター整備事業  
既存施設との棲み分けを考  
えているのか。旧宮古警察署庁舎という設備や立地からみて、武道やマリンスポーツの拠点としてはどうか。  
今後の計画においては既存施設との棲み分けという観点も意識し進めたい。

公共交通空白地交通確保維持事業  
事業の名称が「地域タク

シー運行体制構築事業費補助」と変わっているが、内容は変化したのか。  
3年間の実証実験により、「一定のニーズがあり継続が必要」と結論がため、補助事業として継続するもの。

グリーンピア三陸みやこ施設  
管理事業  
活用計画策定業務委託料が予算計上されているが、策定の方向性は。  
ターゲットの客層を見定めるところから構築しないといけない。観光動向や入込者数の見込みの調査、敷地の活用などの観点から計画を策定する。

空家対策事業  
空家リフォーム補助金の上限を50万円としている根拠は。  
適正な金額かについては議論があると思うので、事業効果を確かめながら経過を見ていきたい。

結婚支援事業  
結婚新生活支援補助金は、10件を想定しているようだが件数は十分か。  
世帯所得340万円以下という所得制限を設けていて、過去の実績も参照して件数を定めて計上している。

男女共同参画推進事業  
平成31年度の講座や取り組み

みの内容は。  
平成30年度は市職員を対象にLGBTについての講座を行った。新年度も多様化に対応した事業・講座を催したい。

グリーンピア三陸みやこ施設  
管理事業  
多目的アリーナ屋根、センター棟のトイレの改修が予定されているが、バリアフリー化は行われるのか。  
全館にわたり段差が解消されるような改修ではないが、今回手掛けるトイレは改善していく予定である。

選挙啓発推進事業  
投票率の低下が問題となっているが、平成31年度は新しい取り組みを考えているのか。  
送迎バス事業について、川井地域の門馬地区で乗り場を増やす予定である。

防災集団移転促進事業  
まだ未整備のところがあるのか。  
相続等の関係で契約できずにいる土地が、5地区で合わせて7件あり、その買い取りのための費用である。

民生委員事務  
民生委員児童委員協議会補助金が減額となっているがその

理由は、  
補助金が執行されずに、剰余金を繰り越している団体を調査し、見直し基準を設けて対応した結果である。  
補助金の繰越が出ているが、活動自体への評価を伺う。  
震災後、研修の回数を増やし、視察等の対応も行ったため、震災以前より活発な側面もあったと考える。  
在宅超重症児等短期入所事業所機器整備費補助金  
市内の老人保健施設を対象としたもので事業所の新規立ち上げではない。受け入れの意向を示したところがあり、そのための機器の購入費用の補助金である。

母子保健事業  
産前産後サポート事業、産後ケア事業では、従来の事業内容に加えて、新規の取り組みはあるのか。  
①月に1度、妊産婦が集う場を提供する「デイサービス型」の事業②問題のある世帯や、訪問を希望する妊産婦への個別の継続訪問。以上の2つを新たに開始する予定である。

産前産後サポート事業、産後ケア事業では、従来の事業内容に加えて、新規の取り組みはあるのか。  
①月に1度、妊産婦が集う場を提供する「デイサービス型」の事業②問題のある世帯や、訪問を希望する妊産婦への個別の継続訪問。以上の2つを新たに開始する予定である。

産前産後サポート事業、産後ケア事業では、従来の事業内容に加えて、新規の取り組みはあるのか。  
①月に1度、妊産婦が集う場を提供する「デイサービス型」の事業②問題のある世帯や、訪問を希望する妊産婦への個別の継続訪問。以上の2つを新たに開始する予定である。

産前産後サポート事業、産後ケア事業では、従来の事業内容に加えて、新規の取り組みはあるのか。  
①月に1度、妊産婦が集う場を提供する「デイサービス型」の事業②問題のある世帯や、訪問を希望する妊産婦への個別の継続訪問。以上の2つを新たに開始する予定である。

産前産後サポート事業、産後ケア事業では、従来の事業内容に加えて、新規の取り組みはあるのか。  
①月に1度、妊産婦が集う場を提供する「デイサービス型」の事業②問題のある世帯や、訪問を希望する妊産婦への個別の継続訪問。以上の2つを新たに開始する予定である。



### ■住宅用太陽光発電システム導入促進事業

**問** 太陽光発電システム導入促進費補助金として1千万円が計上されているが、平成29年には3千万円だった。年々減少している背景をどうみているか。

**答** ピークは平成24年度の221件。平成29年度が62件、平成30年度が50件と減少している。住宅再建需要の減少と共に設置も減少しているものと分析している。

## 【労働・産業】

### ■勤労青少年ホーム運営事業

**問** 勤労青少年ホームの機能は、(仮称)宮古創生センターなどに統合されると聞いていたが、残る建物はどのように活用するの。

**答** 建物は46年を経て老朽化が進み、公共施設再配置計画の対象にもなっている。今後3年間で検討を行っていききたい。

### ■労働行政事業

**問** 宮古シルバー人材センター運営費補助金が、平成30年度に比べ550万円ほど増額になっている理由は。

**答** 平成31年度分より国の交付基準の見直しがあり、増額となったものである。

### ■有害鳥獣被害防止対策事業

**問** 補助により電気柵を設置した田畑は守られるが、未設置部分が虫食いの荒らされている。市の単独の費用であつても、大規模な侵入防止の措置を講ずるべきだと思うがどうか。

**答** 現在は個人への購入補助のみである。大規模な対策については、関係者と協議し連携して研究していく。

### ■農業振興一般

**問** 宮古市産業立市ビジョンの分野別ビジョンとして農業振興ビジョンを策定するとしているが、更新にあつたの方向性は。

**答** 平成28年3月の策定当時とは、農業を取り巻く状況が全く変わっている。機械による無人化など先進的な取り組みを見ながら、新しいものを作っていきたい。

### ■河川漁業推進事業

**問** 和井内養魚場井戸工事調査・設計業務委託の費用が1千180万円計上されている。同養魚場は表層水を使用していたと思うが、井戸を使用することとした理由は。

**答** 平成28年の台風10号の際に、表層水のみで取水に大変苦労したこと、井戸が必要という結論になった。平成31年度は調査設計業務を行う。

### ■地域資源活用販路開拓支援事業

**問** 今年度、新しい販路開拓はあつたのか。

**答** 加工品コンクリールの入賞商品は、宮古駅前のおみやげ店(さんてつや)で販売する。またスーパーなどの店舗でも取り扱いが決まっている。

### ■震災復興中小企業者支援事業

**問** 水産物の不漁により、水産加工業者の経営不振が続いている。グループ補助金の償還について、市に相談等は寄せられていないか。

**答** 直接の相談はまだない。グループ補助金は県へ申請する制度なので、事業者への貸付金額は把握していないが、相談があつた場合は随時対応したい。

## 【観光】

### ■海水浴場管理事業

**問** 浄土ヶ浜、蛸の浜、藤の川、女遊戸、小湊海水浴場の管理運営委託等が計上されているが、今夏は遊泳可能となるのか。

**答** 女遊戸と小湊はこれからトイレの整備を行う。平成31年度のオープンの予定である。

### ■宮古港海戦150周年記念事業

**問** 交流人口の拡大と地域経済の活性化に資する取り組みとしているが、詳しい事業内容は。

**答** 海戦にゆかりのある山田

## 特別会計

### ■宮古市国民健康保険診療施設勘定特別会計

**問** 新里診療所に歯科医師が配置されていないが、どのように運営しているのか。

**答** 岩手医科大学の歯学部より派遣された歯科医師が診療をしている。

### ■道路改良により移動時間も短縮されている。1名の医師が、2箇所(新里・川井)の歯科診療を行うといった合理化は考えていないのか。

**答** 地域の特性や合併の経緯、地域医療の維持などを踏まえて検討しなければならぬ。急激な合理化には、課題が残る。

## 一般会計・歳入

### ■ふるさと寄付金

**問** 寄付額を増やすために、事業を提案して出資を募るファンD型の募集をしたり、物ではなく体験を提供したりといった、新しい工夫をしてはどうか。

**答** 昨年、庁内に納税返礼品連絡調整会という組織を立ち上げたので、会議の場で、提案型の寄付集めや、体験型の返礼品などを検討し、寄付額を増やしたい。

## 企業会計

### ■宮古市水道事業会計

**問** 本市の水道は給水開始から60年を経過し耐用年数を過ぎている。更新には莫大な費用がかかるが、国からの補助の見通しはたつているのか。

**答** 上水道の老朽管更新は、国庫補助の採択基準を満たしていない。人口や資本単価による試算で本市が採択基準の数値になっているのは、平成40年以降と見込まれている。

## 【防災】

### ■防災事務

**問** 避難所で高齢者などから、ベッドを利用したいという声をよく聞く。組み立て式の段ボールのベッドがあるようだが、備え付けることはできないか。

**答** 避難所の物品は、3日間分の食料・水を基本に考えているが、その他必要物品を少しずつ備えていて、平成30年度はテレビを配置した。物品については、今後も検討していく。

## 【教育】

### ■不登校児童生徒支援

**問** サーマン教室は、2箇所所実施していて、中央公民館は大変狭くて不便だという声を聞く。早急に別な場所を確保するべきではないか。

**答** 中央公民館の開設は臨時的なもので、利用者に不便をかけている。利用に適した場所を模索する一方、整備済みの新里については活用していきたい。

### ■小学校保健事業

**問** フッ化物洗口の実施状況と今後の計画は。

**答** 平成28年度から実施し、年度ごとに実施校を増やしている。平成31年度は小学校4校、中学校3校増やし、平成32年度

には小学校7校、中学校3校増やし完全実施となる。

### ■小学校維持管理事業

**問** 小学校長寿命化計画策定業務委託の費用が計上されているが、平成31年度以降の方向性を伺う。

**答** これまでの事後保全から、計画的な施設点検による未然防止(予防保全型)へと転換していくこととした。平成31年度・32年度で長寿命化計画を策定する。

### ■市民文化会館管理事業

**問** 中ホール音響反射板等備品購入とあるが、詳細を伺う。

**答** 音響を向上させるため、移動式の反射板を整備するもの。

### ■ラグビーワールドカップ推進事業

**問** スクラムミーティング補助金500万円の内容は。

**答** W杯代表チームであるフィジーとナミビアの選手団への歓迎の意を表すため、宮古市内を飾り付ける「シティドレッシング」や、宮古市民との交流イベントなどを考えている。

### ■スポーツツーリズム事業

**問** 昨年度に比べて予算が増額となっているが、事業予定を伺う。

**答** 合宿誘致ということで、観光業者、観光文化交流協会、交

## 【平成31年度の主な事業】

事業名	予算	内容
(仮称)宮古創生センター整備	1億7,704万円	旧宮古警察署の建物と跡地を取得し、(仮称)宮古創生センターとして整備します。
子ども・子育て幸せ基金事業	2,850万円	子どもを安心して産み、幸せに育てられる環境整備等を推進するため、各種子育て支援事業を行います。
保育所整備事業 (花輪保育所の移転・新築)	3億700万円	老朽化した花輪保育所の場所を移転し、建物を建て替えます。
母子保健事業	7,430万円	安心して子供を産み育て、子どもたちが健やかに成長できるよう、思春期・妊娠・出産・乳幼児期まで一貫した体系により、支援を行います。
海面養殖・陸上養殖調査事業	1,760万円	本市における新しい漁業の可能性を探るため、海面においてはトラウト、陸上においてはホシガレイの養殖の実現可能性についての調査を行います。
東京オリンピック・パラリンピックへの地域木材提供	374万円	東京オリンピック・パラリンピックの選手村のビレッジプラザの建築に地域木材を提供するための、木材の確保・加工・輸送を行います。
宮古港海戦150周年記念事業	1,200万円	日本初の近代海戦である「宮古港海戦」が行われてから150年の節目となる年を記念し、交流事項の拡大と、地域経済の活性化などをめざし史実をテーマにした記念事業を行います。
小中学校への冷暖房設備	3億1,055万円	児童・生徒が熱中症になることを防ぎ、快適な学習環境を整えるため、小中学校の普通教室にエアコンを整備します。
ラグビーワールドカップ推進	1,995万円	ラグビーワールドカップ2019日本大会の公認チームキャンプ地として、チームやスタッフの受け入れ態勢を整えると共に、市民の間に歓迎の機運を高める各種事業を行います。



# 一般質問「こころ」が聞きたい

## 市政を問う

- 竹花 邦彦 議員(新風クラブ) …… (10)
- 1 宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略について
  - 2 小中学校の適正配置計画の推進について
- 藤原 光昭 議員(新風クラブ) …… (11)
- 1 人口減少に伴う雇用の場の拡大について
  - 2 廃校舎の利活用について
  - 3 水道事業の運営について
- 落合 久三 議員(日本共産党) …… (11)
- 1 復興の先を見据えた産業振興策について
  - 2 健康を支える特定健診推進について
  - 3 ウォーキングを活用した健康増進の取り組みについて
- 熊坂 伸子 議員(ネクストみやこ) …… (12)
- 1 旧宮古警察署取得について
  - 2 宮古市の行政評価の現状と課題について
  - 3 平成31年度宮古市教育行政方針について
- 西村 昭二 議員(ネクストみやこ) …… (12)
- 1 鳥獣被害対策について
  - 2 公園の樹木の維持管理について
- 小島 直也 議員(公明党) …… (13)
- 1 風疹の抗体検査、定期接種の実施について
  - 2 消費税増税に伴う支援策について
- 田中 尚 議員(日本共産党) …… (13)
- 1 「拠点都市」となるべき基盤整備のあるべき姿について
  - 2 「活力に満ちた産業振興都市」について
  - 3 行財政改革について
- 鳥居 晋 議員(復興を考える会) …… (14)
- 1 一次産業、加工業の振興策について
  - 2 みやこサーモンケアネットの利用について
- 佐々木 清明 議員(尽政クラブ) …… (14)
- 1 高齢者の運転免許証自主返納について
- 松本 尚美 議員(無所属クラブ) …… (15)
- 1 平成31年度宮古市経営方針について
- 畠山 茂 議員(新風クラブ) …… (15)
- 1 「子ども・子育て環境の課題」について
- 橋本 久夫 議員(ネクストみやこ) …… (16)
- 1 三陸鉄道一貫運行について
  - 2 インバウンド対策とポートセールスについて
  - 3 避難所の自動開錠について
- 工藤 小百合 議員(ネクストみやこ) …… (16)
- 1 市職員の不妊治療にかかる休暇について
  - 2 施設設置のAEDの持ち出し利用について
  - 3 避難所の自動開錠について
- 白石 雅一 議員(復興を考える会) …… (17)
- 1 「宮古市子どもの権利条例(仮称)」について
  - 2 旧宮古警察署の取得、整備について
  - 3 地域農業マスタープランについて



竹花 邦彦 議員

### 質問 若者の定住促進に低家賃住宅検討を

### 答弁 現施策を継続し定住支援を実施する



定住・移住の支援施策により市街地にも活性化が期待される

**問** 宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標は、人口減少抑制と定住促進を図ることにある。

しかし、本市の人口減少は、市の戦略目標より早いペースで進んでいる。この間の取り組みについて、市長の評価を伺う。

**答** 山本市長  
また、若い世代の定住・移住促進を図るために、低家賃の住宅確保施策を検討すべきと考えるがどうか。市長の所見を伺う。

山本市長  
平成27年度策定の総合戦略に基づき取り組みを行なっているが、人口減少

は進行し厳しい状況にあると認識している。

若者の定住・移住促進の取り組みでは、新婚世帯への住居費等の一部助成や農林水産業の新規就業希望者への住居費補助などを実施している。これらの取り組みを継続し、若い世代の定住支援を

**問** 小学校統廃合計画について  
現在、藤原小、高浜小、赤前小、亀岳小、田老第三小の5つの小学校統廃合計画が進められている。計画の進捗状況と統廃の課題点を伺う。

**答** 伊藤教育長  
田老第三小学校は、学校統合の合意が得られ、4月に田老第一小学校と統合する。藤原小学校は、来年4月に磯鶏小学校に統合する合意を得ている。

保護者からは、子どもが新しい学校に馴染めるのか、通学路の安全や遠距離通学等への不安が寄せられている。統合前の学校同士の交流学習や通学路の安全点検等を実施し、不安解消に努める。



藤原 光昭 議員

### 質問 地場企業の育成強化対策と企業誘致は

### 答弁 引き続き積極的に企業誘致に努める



合板工場での作業の様子

**問** 復興後のまちづくりは産業振興、特に働く場の拡大は緊急の課題だ。若者が働き定住者が増えなければ、街は衰退の一途をたどる。雇用の場の拡充と、企業訪問の成果と課題について伺う。

山本市長

**答** 山本市長  
誘致企業3社における工場の増設

により、新規の雇用が図られている。これからも企業の情報収集に努め、新たな設備投資に対する支援を行なっていく。

また、企業訪問では15社の訪問を行なっている。企業全体の経営状況の現状を知ることができた一方、市として交通インフラ整備状況を説明し、立地条件が向上

**問** 廃校舎の利活用について  
市内小学校の廃校舎の地域住民との意見交換状況は。また、利活用に對する住民要望に、積極的に協働し地域振興を図るべきだが、所見を伺う。

**答** 山本市長  
廃校舎の利活用については、地域振興に関する意見と要望であり、地域の実情に合った施策を展開する上で、施設や用地の利活用が合理的である場合には、検討を進めていく。また、今後とも地域の声に耳を傾け、議会とも相談していく。

**問** 水道事業の運営について  
水道施設の運営権を民間業者に設定するコンセッション方式の導入が可能となるが、市長の考えを伺う。

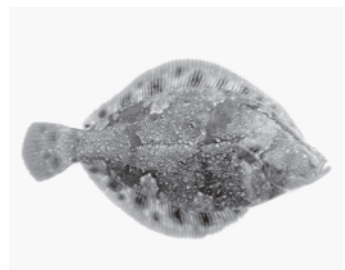
**答** 山本市長  
施設の維持管理をはじめ、各種の業務委託という形で実施し市の事業運営を継続していく。



落合 久三 議員

### 質問 海面・陸上養殖魚種の選定理由は

### 答弁 国内シェアや指導の有無により選定



陸上養殖の魚種に選定されたホシガレイ

**問** 新年度の産業振興策について以下の点を伺う。

①「海面及び陸上養殖の可能性調査」の魚種として、トラウトとホシガレイが示された。魚資源が減少する中で打開策の一つとして提起されたが、なぜこの2種となったのか。選定の理由を伺う。

**答** 山本市長  
②3月末の復興事業の進捗は約95%だ。復興の先を見据えた事業展開が求められるが、イーストピアみやこや市営駐車場の管理運営は市外の大手企業に委託され、地域循環型とは言えない。市民所得向上のためには、地元企業に仕事とお金が回る必要がある。入札において「地

元企業の支援、育成」の姿勢を貫くことが必要と思うがどうか。

**答** 山本市長  
①海面養殖は当初ギンザケを想定したが、宮城県がシェアの9割を占めており、GI登録済みなことからトラウトを、陸上養殖は、東北水産研究所で種苗

生産研究が行われ、技術指導を受けられることからホシガレイを選定した。

②イーストピアはプロポーザル方式、市営駐車場は指定管理方式で、応募業者の提案を受け審査・選定したもので、市内業者も参加している。市の契約は「市内業者の優先」を原則としていて、今後この原則に基づき進める。

**問** 特定健康診査受診率向上策を  
特定健康診査受診率が約40%、特定保健指導実施率は約12%と伸び悩んでいる。指定した公共施設以外で受診できるように、市営診療所、民間医療機関等と提携して推進すべきだ。

**答** 山本市長  
国保診療所や宮古医師会などと協議し取り組んでいく。





熊坂 伸子 議員

### 質問 旧宮古警察署取得後の活用計画を伺う

**答 井** 宮古創生センター(仮称)として活用を目指す



取得が予定されている旧宮古警察署

外部評価を行う行政評価委員会は4回程度開催され、翌年度事業に反映させている。

### ■新年度教育行政の重点施策は

宮古市の教育を巡る課題が山積する中、思い切った施策を早急に打ち出すべきと考えるが、新年度の教育行政の重点施策を伺う。

**答** 伊藤教育長

第1に生涯学習の推進、第2に不登校問題の解消、第3にいじめ問題の解消、第4に確かな学力の定着、第5に教育環境の改善、第6にスポーツの振興、そして第7に文化の振興です。

**問** 旧宮古警察署取得を決定した経緯と、今後の利活用計画、及び、維持管理費等の見込みを伺う。

**答** 山本市長

平成28年12月に岩手県警察本部長から利用希望の照会があり、市は翌年2月に価格等の条件によっては購入を検討

する旨回答した。

子どもや若者の健全育成を目的とした活動、併せて市民活動の場として活用を目指す。

具体的には、今後市民参画を得ながら取りまどめていく。維持管理費等は今後利活用計画の進捗と共に算定する。

**問** 行政評価実施方法について 宮古市の行政評価の実施時期や手法、翌年度事業への反映状況等が妥当かどうか、市長の認識を伺う。

**答** 山本市長

7月末までに事務事業評価を行い翌年度の計画や予算に反映させている。



西村 昭二 議員

### 質問 有害鳥獣被害対策 専門の担当課設置を

**答 井** 最も効果的な組織体制を検討する



イノシシの被害にあったキクイモ畑(曇目)

かかっている桜が目立つが、新種への植え替えなどの計画はないか。③旧庁舎跡地の公園に廃校になった学校の記念樹やシンボリックな樹木の移植、接ぎ木によるクローン植樹するなどしてメモリアル的な公園にしてはどうか。

**答** 山本市長

①定期的な巡回や、市民の通報などで管理しているが、公園全体の管理計画とはなっていないことから、公園管理計画の策定を検討する。②植え替えや、樹木の選定を策定する公園管理計画の中で検討する。③現在ある記念碑などを活かしつつ、復興に関するモニュメントの設置、季節感を演出する植物や樹木の配置を予定している。市民の声を聞きながら植栽計画を検討する。

**問** ①市での有害鳥獣捕獲許可を通常事業としたほうがよいと思うがどうか。②猟友会員の高齢化、現在のニホンジカ、更に目撃情報も増えているイノシシ対策を含め、有害鳥獣被害対策に向けて専門の担当課を設けてはどうか。

**答** 山本市長

①市の有害捕獲については、県や宮古地区猟友会と協議していく。②ニホンジカの生息数の増加や、イノシシの生息域拡大が懸念されることから、鳥獣被害の現状や実施隊(猟友会)の在り方を見極め、最も効果的な組織体制を検討す

る。

**問** 公園の樹木の維持管理体制は ①市内の公園は病気の桜が多く、手入れが行き届いていないと思うが、樹木の管理体制、管理計画はどのようになっているのか。②公園のソメイヨシノの寿命や、てんく果病などの病気に



小島 直也 議員

### 質問 風疹の定期接種 本市での実施は

**答 井** 新年度予算に計上 体制を整え実施する



家族のためにも予防接種を受けましょう

図るため、市独自で支給対象年齢の拡大などは検討しないか。

**答** 山本市長

プレミアム商品券の発行にあたっては、過去に実施した臨時福祉給付金等の実施方法を参考に。商品券利用可能店舗や換金の手続き等については、商工会議所や金融機関と連携して準備を進めている。

**問** 国立感染症研究所によると、昨年一年間の風疹患者数は2500人を超えた。患者のほとんどが成人男性で、風疹の免疫を持つ人が少ないことが原因と考えられる。厚生労働省は本年4月から3年間、現在39歳から56歳までの男性を対象に、原則無料で抗体検査、ワクチン接種を実施することにした。本市の取り組みはどうか。

**答** 山本市長

平成31年2月1日改正の予防接種法施行に伴い、予防接種を実施するため、平成31年度当初予算に必要経費を計上した。全国で使用可能なクーポン券方

式で行う予定。宮古医師会などの関係機関との連携で、実施体制を整える。

**問** 消費増税に伴う支援策について 10月に予定される消費増税対策として、国はプレミアム付き商品券の導入を計画しているが、事業の進め方を伺う。また、子育て世帯の負担軽減を



田中 尚 議員

### 質問 産業振興都市への 農業所得の向上策は

**答 井** 生産基盤の 強化等を支援



生産量が増えているブロッコリー

②譲与税は市が行う間伐や人材育成等に充て、森林整備と後継者確保や技術向上に取り組み。森林が地域の9割を占め、バイオオマスの残存量は豊富な一方、木材伐採や運搬人手の確保や路網等に課題を抱える。解決へ研究を続け小規模分散型の木質バイオマス事業の導入を検討する。

**問** 通勤等の鉄道利用策は 一駅を中心としたまちづくりへ、市民の通勤・通学が保障され、鉄道の利用促進にもつながるソフト整備はどうか。

**答** 山本市長

鉄道とバスの連携は重要と認識、さらなる利便性の向上へ各種施策を事業者と協議する。

**問** ①地域農業マスタープラン「実現へ、重点振興品目、推進品目の生産拡大と、農業所得の向上が課題だ。市は農業所得の低さは何が原因と認識しているのか。重点品目等の生産拡大に向けて、何が検討されているか。

**答** 山本市長

①市の産出額は平成27年度14億円

から、28年度15億1千万円へと増加し、一戸当たりの農業所得は増えている。高収益作物の生産拡大へ、キュウリ等を重点品目に指定、ブロッコリーは29年度、生産量31・3ト、販売額1177万円と以前より拡大している。生産基盤の強化や販売体制の構築を支援していく。





鳥居 晋 議員

### 質問 鉾ヶ崎地区の賑わい創出事業の内容とは

### 答弁 魚市場・浄土ヶ浜と関連づけ賑わい作る



賑わい創出の起点となる七滝公園

**問** 市長は今定例会で、宮古市経営方針を示され、基本姿勢・復興計画・総合計画も述べられた。この内容の骨子について伺う。①鉾ヶ崎地区での賑わい創出事業の具体的な内容はどのようなものか。②水産業・水産加工業の振興には労働力の確保が重要課題だが、外国人研

修生の居住環境への支援策は。③水産加工業では機械化や冷凍冷蔵庫等の設備投資も進み、雇用と雇安定の一翼を担っている。これらの施設等への漁期外の維持管理費への支援は考えないか。④地元の水産物高付加価値商品開発のため、廃校を活用しての企業誘致の考え

はないか。  
**答** 山本市長 ①昔の町並み再生や、キッチンカーも利用できる七滝公園の整備を進めている。引き続き、魚市場や浄土ヶ浜と関連させ賑わいを創出する方策を検討する。②「水産加工業人材確保支援事業補

助金」により、新規雇用者向け宿舎整備への支援を行っている。③「宮古市水産業協同利用施設復興整備事業」「宮古市水産経営復興対策事業」により、補助事業を行った。維持管理費は事業者の負担としている。④廃校利活用は一から三段階あり廃校の企業誘致は二段階の「地域や民間等への貸付」で、民間への働きかけを行う。  
**問** みやこサーモンネットの成果を問う  
**答** 山本市長 登録患者数は3,295名で1,022施設が参加。検査や投薬の重複を防ぎ、適切な治療ができることが、患者、医療機関双方のメリットであり成果と見ている。



佐々木 清明 議員

### 質問 高齢者の運転免許証自主返納促進策は

### 答弁 公共交通体系の構築が有効と考える



免許証の返納は警察署で受け付けています

**問** 高齢者の運転免許証返納者が年々増加している。本市においても同様であるが、買い物・通院など移動が不便になることから返納を躊躇している方もいる。運転事故防止の観点からも免許証の自主返納を促す取り組みが必要であり、例として公共交通網等の整備や、そ

の利用にかかる助成・商品の無料宅配サービスへの補助などが考えられる。平成30年6月定例会議において同僚議員が同様の質問をし、検討を進めるとの答弁があったが、現在の検討状況と今後の取り組みについて伺う。

**答** 山本市長 市民の生活にとって、移動することは欠かせない要素である。高齢化により通院や買い物など生活を支える公共交通の役割は、重要と認識している。市では平成29年3月に「宮古市地域公共交通網形成計画」を策定し、市民生活

を支える地域公共交通手段の確保、市民ニーズに合った交通ネットワークの形成、地域公共交通の利用拡大に向けた環境整備など、持続可能な公共交通体系の構築を進めてきた。平成31年度には、現在の計画を改定し更なる利便性の向上を目指し計画を策定していく予定である。これまでバス事業者とは、利用しやすい上限制バスの導入について、運輸支局とは公共交通空白地での有償運送の導入手法についてなどの協議をしている。事業実施には、諸課題を解決する必要があることから、引き続き検討を継続していく。今のところ、免許返納者に限定せず、全ての人が利用しやすい公共交通体系を構築することが有効だと考えている。



松本 尚美 議員

### 質問 企業誘致への具体的な取り組みは

### 答弁 積極な情報収集と適地の創出に努める



新しい産業や技術の誘致で宮古市に活気を

**問** 企業誘致について、予算計上も含め、積極性、意気込み、熱意が全く感じられない。企業誘致は本市の最優先課題ではないか。トップセールスは当然としても、受け入れ環境の整備、拡充が喫緊の課題である。具体的な取り組みを示せ。

**答** 山本市長 定期的な企業訪問や、岩手県が首都圏で開催する企業ネットワークいわてやポर्टフォーラムに参加し、積極的に情報収集に努める。受け入れ環境の整備については、立地に適した土地の創出に努める。

**問** バイオマス発電所等の立地を再生可能エネルギーの地産地消都市を目指すところだが、新年度の具体的な取り組みが見えない。バイオマス発電所等の誘致、立地の可能性も見えない。市長の見解を伺う。

**答** 山本市長 地域に豊富に存在する自然エネルギー資源の積極的な活用が、地域経済活性化の重要な柱となり得ると捉え、その開発と普及に力を入れたい。導入に向けた検討を進めたい。  
**問** 陸上養殖は魚種を限定せず調査・研究することと流通システムマーケティング用地の確保等、立地環境の整備などの支援対応も必要である。  
**答** 山本市長 他の魚種の可能性は、関係機関と協議し研究する。新冷凍システムによる流通等については、導入経費や採算性などを関係団体などと協議しながら研究していきたい。



畠山 茂 議員

### 質問 待機児童の現状と解消のための対策は

### 答弁 基金事業や民間協力で解消に努める



基幹施設である小山田保育所

**問** 本市の子育て環境について、次の点を伺う。①市として、様々な子育て支援事業を実施しているが、「待機児童の解消」や「子育てと仕事を両立」できる環境が十分でないことが課題。待機児童の現状と対策を伺う。

②女性の社会進出や共稼ぎ世帯の増加など、保育ニーズの多様化に対し延長保育等の充実が必要と考えるが現状を伺う。

③「新・放課後子ども総合プラン」の目指す放課後児童クラブ（学童の家）実施の方向性を伺う。

**答** 山本市長 ①待機児童は、民間の保育施設の新設や「子ども子育て支援基金」の支援事業で解消に努めている。②検討を重ねているが保育士確保の課題があり、引き続き検討していく。③学童の家については、保護者の要望がある所は設置を終えて充足している。④国から正式な通知はなく、引き続き情報を注視し対応していく。⑤基金事業は利用実績もあることから、今後も一層の効果も期待できると考える。⑥貧困連鎖の防止が大きな課題、特にひとり親世帯の改善が必要と考える。平成31年度から子ども食堂を実施したい。





橋本 久夫 議員

### 質問 三鉄八木沢新駅の短大側に道路設置を

### 答弁 利用促進上の課題で開業後に協議する



新設された八木沢・宮古短大駅

**問** JR山田線の宮古〜釜石間は8年の時を経て三陸鉄道に移管されるが、課題はいかに利用促進を図るかにある。①新駅の八木沢・宮古短大駅は、現状では短大側からのアクセスが遠回りになる。そちら側からの人々が利用しやすい道路の整備が必要なのではないか。②

**答** 1本になった路線の利用促進策として運賃補助制度を検討しているか。③イメーシ戦略として全駅に「発着メロディ（駅メロ）」を展開してはどうか。④JR山田線盛岡〜宮古間の路線名の変更をしてはどうか。

**答** ①八木沢・宮古短大駅への短大側からのアクセスの改善については、利用促進上の課題として認識する。改善に向けての対策は、リアス線開業後に、三陸鉄道とともに協議していく。②通学定期代金の2分の1補助する被災地通学支援

や、割引率の高い回数券発行を行う。③発着メロディは設備の新設を伴うことから、三陸鉄道と協議する。④路線名変更は多額の費用と時間がかかる。愛称をつけている事例があるので、そちらが有効と考えている。

**問** ■インバウンドと客船ポートセールス対策は  
**答** インバウンドのためのキャッシュレス化、体験プログラム、客船ポートセールス対策を伺う。

**答** キャッシュレス化推進などのセミナーに取り組んでいる。体験観光は関係団体と連携を図る。宮古港は14万トンまでクルーズ船が寄港できる。県、広域市町村と連携して誘致活動に取り組む。



工藤 小百合 議員

### 質問 市職員の不妊治療にかかる休暇は

### 答弁 休暇制度の創設に向けて検討する



市職員の働く市役所1階の様子

仙台市では本年4月から、職員が不妊治療のための休暇を取ることが出来る制度を創設する。同様の制度は今後、全国的に広がると思われる。職員の離職を防ぎ、優秀な働き手を確保する有効な手段と考える。本市でも、職員が不妊治療を受けるための休暇制度を検討して

はどうか。  
**答** 山本市長 現在、職員の不妊治療に係る休暇制度はないが、働きやすい職場環境を整備するため、先進自治体や民間企業の状況、制度概要を精査し、休暇制度の創設に向けて検討していく。

■公共施設設置のAED持ち出しは  
**問** AEDは現在、市内の公共施設や全小中学校・保育所・学童の家などに設置されているが、運用のルールが明確でなく、十分な対応がされていない。①AEDが必要な急病、事故等が施設近隣で発生した場合は、②施設外持ち出し

■避難所の自動開錠について  
**問** 災害時、電波で保管庫を開ける自動開錠は、迅速な避難所開設が可能となると思うが、市の見解はどうか。  
**答** 山本市長 暗証番号機能があるキーボックスの設置・整備を進めている。



白石 雅一 議員

### 質問 宮古市子どもの権利条例(仮称)は

### 答弁 より良い条例となるよう進める



子どもの権利を守るイメージ

子ども及び子育て家庭への支援についての基本理念を定めるため、宮古市子どもの権利条例(仮称)の整備を進めるとあるが、市長自らが先頭に立ち、幅広い視野を持つ研究組織を立ち上げ、期間を設けてしっかりと議論をおこなう必要があると思うがどうか。

**答** 山本市長 宮古市子ども・子育て会議の場で議論をしていきたい。そのうえでパブリックコメントを実施し、議会の意見も頂き、より良い条例となるよう進めたい。■旧宮古警察署の取得・整備について

**問** 子どもや若者の健全育成を目的とした様々な活動を行うことができる場、併せて市民活動の場として旧宮古警察署の取得、整備の方針が示された。NPOなどから簡易事務所や貸しブース等の要望が上がっているが、検討すべき課題ではないか。

**答** 山本市長 基本構想では市民活動、市民団体への支援も展開していきたいと考えており、提言は合致するものと認識する。施設計画の詳細については、市民や各種団体の参画を得て取りまとめた。■地域農業マスタープランについて  
**問** 5年後10年後を見据え、地域農業の担い手をどう育てていくのかが課題であると思うが、地域農業マスタープランの実現に向け、地域の中心経営体の育成・確保を図れるよう、どの様に見直しをおこなうのか。  
**答** 山本市長 今後示される国の方針に基づき、各集落の現状把握に努め、担い手と農地のマッチングを図り、集落地域の問題を一体となって取り組めるよう見直ししていく。



市民の皆様から

3月定例会議中の2月28日には、花輪公民館利用者の皆さん、3月4日には「明るい選挙推進協議会」の皆さんが、傍聴に訪れました。

意見の一部を紹介いたします。「漠然と女性議員が足りないと感じました。初めて傍聴しました。議員の方々は、積極的な発言と活動をお願いします。」  
「市の拠点としてイーストピアみやこについて知っておくことは必要です。参考にありませんでした。議場には入ったことがないので新鮮でした。」  
「多くの市民が議会を傍聴できることを希望します。」  
「今回の見学を計画していただきありがとうございます。」

### 議会傍聴の感想



た。気にはなっていたけれど、自分で来る機会がなく良い企画でした。」  
「時々、イーストピアみやこには孫も連れて来ていたのだからも来たいと思います。議会傍聴は初めてだったので機会があれば傍聴したいです。」  
「各議員には市民の立場に立って活躍してほしいです。」  
「議員に近い所で討論がなされ、それを傍聴することはとても親近感が湧き良いと思う。」

■傍聴された方々の多くから、「議員等の声が聞こえにくい」との意見がありました。今後、音量等について工夫し、より傍聴しやすい議場の環境を整えたいと考えています。また、議会はごなたでも傍聴することができます。団体で傍聴することもできますので、詳しくは宮古市議会事務局までお問い合わせください。

TEL 68-9113  
FAX 63-9117



# 総務常任委員会行政視察の報告

## 平成31年2月5日

### ①まちづくり推進隊について

(香川県三豊市)

7町合併による三豊市は、少子高齢化・人口減少が進む中、このまま行政サービスが増大していくと財政、自治体はやがて行き詰まるとの危機感から「まちづくり推進隊制度」を平成24年度から始めています。これは、「行財政改革による職員の削減」「地域コミュニティの活性化」という2つの相反する課題を同時に解決するため、法律で義務付けされていない支所の事務を、行政ではなく市民組織(NPO等)に担ってもらい、その費用を賄う財源(交付金)を手渡すという仕組みづくりです。宮古市は地域協議会、地域創造基金の存続・継続が問われていて、市議会の総務常任委員会でも、地域協議会との意見交換を行い今後のあり方を協議していますが、官民一体もさることながら地域特性を認め合わなければ地域は活性化しない、この思いを強くした視察研修でした。

三豊市が運行するコミュニティバスは、高齢者など自ら交通手段を持たない市民の移動手段を確保し、健康増進や生きがいづくり等の生活支援を「先手の福祉」の一環として位置づけ、運行は市内の事業者9社へ委託して平成19年7月から運行しています。しかし、人口減少や自家用車を所有する高齢者の増加に伴い、毎年利用者が減少しているのが現状です。更に委託料や燃料費の高騰などで、収支率の向上見込みがないなどの課題もあるようです。少子高齢化、市有面積の広い宮古市での運行実現については、慎重に考えなければならぬと感じた視察研修でした。

### ②コミュニティバス事業について



重茂地区の道路については、議会報告会で、里地区以南の現道の改良整備への意見がよせられています。今後議会では、市や県へ必要性を訴えていきます。

# 主要地方道重茂半島線 地域住民待望の開通



主要地方道重茂半島線と一般県道津軽石停車場線「熊の平・津軽石」間が3月16日開通しました。開通式には議長、副議長のほか、産業建設常任委員会所属の議員も出席し、晴れやかな空の下、重茂半島のほぼ中心にあたる熊の平に完成した重茂トンネルと、熊の平大橋のたもとで式が執り行われました。2つの路線の着工から完成までの期間は4年間で、重茂地区の漁業者や住民にとって最高の喜びとなり、水産業をはじめとする各産業の発展に弾みがつくことが期待されます。開通式のオープニングを飾ったのは、重茂中学校3年生による勇壮な和太鼓の演奏でした。観覧していた住民は、沿道で両手に旗を持ちながら声援を送り、8年前の震災を乗り越えての新しい道路の開通に、皆で喜びを分かち合いました。

# 田老第三小学校 長い歴史と学び舎に幕を閉じる

3月17日、田老第三小学校の閉校式典が行われました。式には、在校生19名のほか、歴代の教職員、卒業生、保護者、

関係機関や地域の方々など、多数の来賓が出席されました。お別れの言葉の中で代表児童から「心の中に田老三小はあり続ける。三小の絆は永遠になくならない」と発表がありました。



式典後は、実行委員会による記念碑の除幕式が行われました。その後のお別れ会では、郷土芸能「七ツ物」の披露もあり、参加者は多くの想い出話を花を咲かせていました。式典には、市議会より古館章秀議長、教育民生常任委員会所属の議員も出席しました。閉校の寂しさもひとしおですが、地域の絆をあらためて感じた1日でした。田老第三小学校は、4月から田老第一小学校と統合となり第三小の子どもたちは、第一小で学校生活を始めています。

同校は明治10年9月田老撰待簡易小学校として設置。その後、数回の独立・統合等を経て、平成9年2月現在の場所に木造校舎が完成。平成31年3月閉校。今まで、623人の卒業生を世の各分野に送り出してきました。

## 宮古市議会の情報をリアルタイムで

### インターネット中継

本会議は生中継(ライブ配信)しています。録画中継は、本会議のおおむね5日後(土日祝を除く)から配信いたします。(パソコン、スマートフォン、タブレット端末に対応)

### Facebook

宮古市議会のトップページのリンクをクリックしてご覧ください。

### みやこハーバーラジオ (82.6メガヘルツ)

本会議開催中の午前8時10分頃からの放送です。

### 次回6月定例会議

6月上旬の開催予定です。会議日程が決まり次第、宮古市議会のトップページに掲載します。詳しくは議事事務局におたずねください。(☎68-9113) mail: gikai@city.miyako.iwate.jp

## 編集 後記

編集委員  
島山 茂

3月議会が終了し、平成31年度がスタートしました。世の中は、新しい元号が発表されたり、各種選挙が行われたり。4月下旬には大型10連休を控え、何かと慌ただしい年になるかもしれません。

今年度は復興計画期間の最終年度であり、市議会といたしましても皆さんとしっかり向き合い、これからの事業を推進していきます。

この市議会だよりが皆さんに届く頃は、ちょうどゴールデンウィーク中だと思います。三陸沿岸道、三陸鉄道、宮蘭フェリーなど各交通網が利用されて、市内各地が市民や観光客で元気に賑わっていることを期待します。

### 議会広報編集特別委員会

- 委員長 白石 雅一
- 副委員長 西村 昭二
- 編集委員 島山 茂
- 小島 直也
- 鳥居 晋
- 佐々木 清明



# みんなのラウンジ

議会で可決された条例や予算から身近な話題を取り上げるコーナーです。

3月定例会議で料金等を改定する条例が可決された、老人憩の家・安庭山荘で料理を提供している「和井内郷土料理研究会」の皆さんから、おはなしをうかがいました。

—まずは、郷土料理研究会の発起人である矢崎さんに、

—まずは、郷土料理研究会の発起人である矢崎さんに、

—まずは、郷土料理研究会の発起人である矢崎さんに、

—まずは、郷土料理研究会の発起人である矢崎さんに、

—まずは、郷土料理研究会の発起人である矢崎さんに、

—まずは、郷土料理研究会の発起人である矢崎さんに、

—まずは、郷土料理研究会の発起人である矢崎さんに、

—まずは、郷土料理研究会の発起人である矢崎さんに、

—まずは、郷土料理研究会の発起人である矢崎さんに、

—まずは、郷土料理研究会の発起人である矢崎さんに、

—まずは、郷土料理研究会の発起人である矢崎さんに、

—まずは、郷土料理研究会の発起人である矢崎さんに、

—まずは、郷土料理研究会の発起人である矢崎さんに、

—まずは、郷土料理研究会の発起人である矢崎さんに、

—まずは、郷土料理研究会の発起人である矢崎さんに、

—まずは、郷土料理研究会の発起人である矢崎さんに、

—まずは、郷土料理研究会の発起人である矢崎さんに、

令和元年5月1日第56号発行／宮古市議会（〒027-8501宮古市宮町一丁目1番30号 ☎0193-2111）編集／議会広報編集委員会 印刷／有限会社宮古グラフィック

令和元年5月1日第56号発行／宮古市議会（〒027-8501宮古市宮町一丁目1番30号 ☎0193-2111）編集／議会広報編集委員会

印刷／有限会社宮古グラフィック



—安庭山荘が道路工事のため8月まで休館ですが、再開への思いをお聞かせください。

**東館** 最近山荘の利用者、昼食提供とも減っています。昼食の注文が1日20人以下だと、会の運営も出来なくなりそうです。沢山の人が利用してもらって、一番のお勧めメニュー「ひつつみ定食（700円）」を食べて欲しいです。定食にはフルーツと漬物も付きますので、和井内の湯っこと、美味しい郷土料理を楽しみに来てください。安庭のお湯は、昔から子宝の湯としても有名です。子宝に恵まれた方は、湯っこに入って、山荘脇にある「金精様」をお参りしてみてください。

**【条例解説】**  
**○宮古市老人憩の家条例の一部を改正する条例**  
 老人憩の家「小田代山荘」「安庭山荘」の利用区分を見直し、使用料を改定する条例が、3月定例会議で可決されました。料金等の詳細は、市ホームページ等でご案内しています。

## 和井内のよさを郷土料理で皆さんに発信したい



会員おすすめのひつつみ定食